様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和８年　５月 14 日

福島県知事　殿



提出者
住　所　〒961-8061
福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平150番地
氏　名　信越半導体株式会社　白河工場
取締役工場長　小野澤　一郎
電話番号　（0248）25-6707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	信越半導体株式会社　白河工場
事業場の所在地	〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平150番地
計画期間	令和８年４月～令和９年３月（１年間）

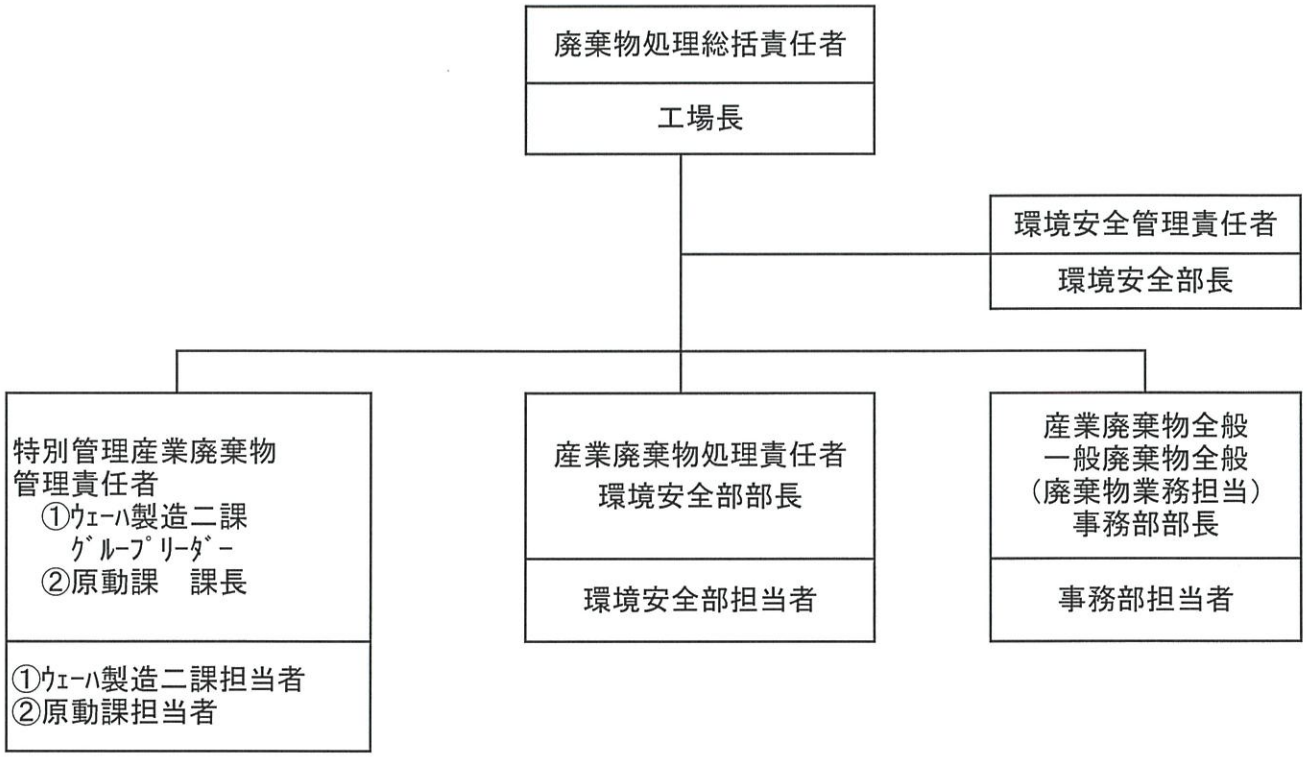
当該事業所において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	ＣＺ単結晶の製造、ﾎﾟﾘｯｼｭﾄﾞｳｪｰﾊの製造、ｴﾋﾟﾀｷｼｬﾙｳｪｰﾊの製造
②事業の規模	
③従業員数	８９３人　（令和８年　３月末現在）
④産業廃棄物の一連の処理工程	①結晶製造工程； 無機性汚泥、廃油、廃プラスチック類、金属屑、木屑、ガラス屑 ②ﾎﾟﾘｯｼｭﾄﾞｳｪｰﾊ製造工程； 無機性汚泥、廃プラスチック類、金属屑、木屑、ガラス屑 ③ｴﾋﾟｷﾀｷｼｬﾙｳｪｰﾊ製造工程； 無機性汚泥、廃プラスチック類、金属屑、木屑、ガラス屑

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	(1) 無機性汚泥	(2) 廃プラスチック	(3) 木屑	(4) 金属屑
排　出　量	162,594.60 t	245.34 t	133.98 t	6.14 t

（これまでに実施した取組）
(1) 無機性汚泥
①製造工程及び排水処理場での使用化学物質削減
②フィルタープレスによる脱水処理の実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(1) 無機性汚泥	(2) 廃プラスチック	(3) 木屑	(4) 金属屑
排　出　量	172,209.28 t	242.88 t	132.64 t	6.08 t

（今後実施する予定の取組）
(1) 無機性汚泥
①製造工程及び排水処理場での使用化学物質削減活動
②フィルタープレスによる脱水処理の実施

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	(5)ガラス屑	(6)廃油	(7)廃酸（PH2以上）	(8)廃ｱﾙｶﾘ（PH12以下）
排出量	0.13 t	6.54 t	0.64 t	0.44 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(5)ガラス屑	(6)廃油	(7)廃酸（PH2以上）	(8)廃ｱﾙｶﾘ（PH12以下）
排出量	0.13 t	6.47 t	0.63 t	0.44 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	(9)水銀使用製品	(10)バッテリー（乾電池）	－	－
排出量	0.71 t	0.37 t	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(9)水銀使用製品	(10)バッテリー（乾電池）	－	－
排出量	0.71 t	0.36 t	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） (1) 無機性汚泥・・・・専用ケーキホッパーに保管（6基） (2) 廃プラスチック・・専用コンテナＢＯＸに保管（13基） (3) 木屑・・・・・・・専用コンテナＢＯＸに保管（1基） (4) 金属屑・・・・・・専用コンテナＢＯＸに保管（9基） (5) ガラス屑・・・・・専用コンテナＢＯＸに保管（5基）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） (1) 不足分等があれば都度増設等の対応を行っていく

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当無し	－	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当無し	－	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	(1)無機性汚泥	－	－	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	151,367.64 t	－ t	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）
(1)無機性汚泥
①製造工程及び排水処理場での使用化学物質削減
②フィルタープレスによる脱水処理の実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(1)無機性汚泥	－	－	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	160,728.28 t	－ t	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）
(1)無機性汚泥
①製造工程及び排水処理場での使用化学物質削減活動
②フィルタープレスによる脱水処理の実施

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	該当無し	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	該当無し	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類		(1)無機性汚泥	(2)廃プラスチック	(3)木屑	(4)金属屑
全処理委託量		11,226.96 t	245.34 t	133.98 t	6.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6,385.27 t	80.79 t	0.00 t	6.04 t
	再生利用業への処理委託量	10,992.36 t	245.34 t	133.98 t	6.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
(1)無機性汚泥
①製造工程及び排水処理場での使用化学物質削減活動
②フィルタープレスによる脱水処理の実施
③セメント原材料および路盤材として有効利用している。
(2)廃プラスチック
①原材料として再生利用している。
(3)木屑
①発電所の燃料チップとして再利用している。
(4)金属屑
①原材料として再生利用している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		(1)無機性汚泥	(2)廃プラスチック	(3)木屑	(4)金属屑
全処理委託量		11,481.00 t	242.88 t	132.64 t	6.08 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6,529.75 t	79.98 t	0.00 t	5.98 t
	再生利用業者への処理委託量	10,840.00 t	242.88 t	132.64 t	6.08 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）
(1)無機性汚泥
①製造工程及び排水処理場での使用化学物質削減活動
②フィルタープレスによる脱水処理の実施
③セメント原材料および路盤材として有効利用している。
(2)廃プラスチック
①原材料として再生利用している。
(3)木屑
①発電所の燃料チップとして再利用している。
(4)金属屑
①原材料として再生利用している。

※事務処理欄

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	(5)ガラス屑	(6)廃油	(7)廃酸（PH2以上）	(8)廃ｱﾙｶﾘ（PH12以下）
全処理委託量	0.13 t	6.54 t	0.64 t	0.44 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	6.54 t	0.64 t	0.44 t
再生利用業者への処理委託量	0.13 t	6.54 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
(5)ガラス屑
①原材料として再生利用している。
(6)廃油
①有価物、サーマルリサイクル。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(5)ガラス屑	(6)廃油	(7)廃酸（PH2以上）	(8)廃ｱﾙｶﾘ（PH12以下）
全処理委託量	0.13 t	6.47 t	0.63 t	0.44 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	6.47 t	0.63 t	0.44 t
再生利用業者への処理委託量	0.13 t	6.47 t	0.00 t	0.44 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
(5)ガラス屑
①原材料として再生利用している。
(6)廃油
①有価物、サーマルリサイクル。

※事務処理欄

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	(9)水銀使用製品	(10)バッテリー（乾電池）	－	－
全処理委託量	0.71 t	0.37 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t	0.37 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.71 t	0.37 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t

（これまでに実施した取組）
(9)水銀使用製品産業廃棄物
①原材料として再生利用している。
②蛍光灯をLED化している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(9)水銀使用製品	(10)バッテリー（乾電池）	－	－
全処理委託量	0.71 t	0.36 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.01 t	0.36 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.71 t	0.36 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	t	t

（これまでに実施した取組）
(9)水銀使用製品産業廃棄物
①原材料として再生利用している。
②蛍光灯をLED化している。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。